常総節能に変

日本赤十字此

を撤法記念館に御者、便優に入

学祖の理牒を開召されかくて十割あらせられ徳川祖長から赤十 **丁分割が代奏樂裡に徳川**莊

畏くも優渥なる今旨を賜ふ

館は六日諸山

において皇后陛下から賜はつ

趣法記念館に

愛婦總會

丁字社總會並に

日川宮、同妃、竹田宮、河大、庭宮等あそばされた、午後三

内壁を現の寄りら向大公使の「治・眩暈・敗記暦長型を収えられ、これに光立ち六日御下・事命で都居長早を御案内の御・申上けつつ馬院御長型・委託ののので、これに光立ち六日御下・事命で事に職・妄聞申上げ次

日記があつた。この日午前十一御巡院、建築工機の限りを遊

権を責せられつつ屋上から御した各常に回り我國の工事の

に西部がアルコルマンを断きつい に変わられ感覚は虚かに真直像アルコルマンを断きつい に変わられ感覚は虚かに真直像にで手後二時にはヘタフエを重視機 アンヘルス 気を発守するのみであることと

壁府軍はトルレホン、ヴアルデモ | 壁に移し燃々首都入城の作戦を練た、衛戍艦司令ポサス將軍艦下の | 軍は本營を首都南方十五キロの地 地を陥れ更にレガネス村を占據し一る、革命軍トレド前台ウアレラ将

ロ各環職へ反撃を試みたが革命軍 つてるるが首都は朝来の証明

向け避難を阻磨した、正午には既縁は 四日 蛯嶋 首都マドリッドに

日間盟]スペイン革命軍先鋒部 軍の草中に歸し政府軍は飛行機十

ヴアレラ將軍入城作戦を練る リツド落城迫る

諸政武を以つて愈上開館され

17金 新聞和品級及解川 が投以下御出迎へ中上に一

事堂は七日が大に奉行される 三隣便殿に御少雄、鳥馬数和、

紫光社一派の兇行か

ソ分開の中に襲つた懸から見て着生事権の手口と錯似してもり「上海五日同盟」今夕の歴史は氏義戦事代は手供連れの形人を暗

他常結。世紫光社一派の兇行と睨みこの方面に手配中である 一般的の埋きに第つてある、文脈会局でも単物を直接し乗車である。 一般的の埋きに第つてある、文脈会局でも単物を重大線と変異五座器質下型型に出動し雲質型を購入して迎入戦楽中であるが文脈を開いませます。 という はいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい 大利 サフル に懸ぎる おとご と 明白で、 総能・解禁網では収場的 2の大利 サフルに懸ぎる形を聞き支那会局と解力収入及び超れ日子 ロ行為 なること 明白で、 総能・解禁網では収場的 2の大利 4 テルに懸ぎる形を聞き支那会局と解力収入及び超れ日子 ロ行為 なること 明白で、 総能・解禁網では収場的 2の大利 4 テルに懸ぎる形を聞き支那会局

「東京電話」直光歌歌大便は五日

 「東京電話」直光歌歌大度によった。1918年

 「東京電話」直光歌歌大度によった。1918年

 「東京電話」直光歌歌大度によった。1918年

 「東京電話」直光歌歌大度によった。1918年

 「東京電話」直光歌歌大度によった。1918年

 「東京電話」直光歌歌大度によった。1918年

 「東京電話」直光歌歌大度によった。1918年

 「東京電話」直記

 「東京電話」上記

 「東京記

 「東京電話」上記

世界に至前の大島・近におら、マックインダイテー では、東部に至前の大島・近に五日なの如く謎のた を押した修教をか 倒元の人をも遅く地言してあるって西学郎に手有の歌天地を理談 のでルーズヴェルト大統領もウェノスアインスで副離さむの米 カフリ海を関トして沙ェノスア・シスで副離さるのでルーズヴェルト大統領もウェノスアインスで副離さるので、オーエ目には大統領・ウェノスアインスで副語さるので、カフリ海を関トして沙ェノスアインスで出げても成る。

日間盟」ルーズラ 窓を間に進め館談に出版する策定【ハイドバーク五】向け魚釣碗海に出かけるが野に底

大勝の餘勢を驅り

鹿兒島氏現場で語る

次を通行中突然一支那人に短刀で斬りつけられたが第の個は父生能には別様ない個人は思想を指揮というには自己問題、五年を成立は出現人は無望を指揮している。

重光大使語る

**怓番事務員が虬江路路次を通行中** 

抗日テロ依然やまず

邦

斬らる

・メンスルール協よし、入利ルテルに入る職い許久に死し難つて臨前りつけられたものである。 原見品以は作用格健確職が出房に出頭で滅立りの下に穿地撤職を行つた、この目前見島氏は皮と子供二人を思れヴェッジスルール協よし、入利ルテルに入る職い許久に死し難つと認立りの下に穿地撤職を行つた、この目前見島氏は皮と子供二人を思れヴェッジスルール協よし、入利ルテルに入る職い許久に死し難つとにありばは戦部の右側に短刀線の功物で断りつけられたが知のにじむ極度

八同伊片岡大使国出記生を強へ六【羽賀市話】重光新建築大使は夫

日子町八年五十分国際列鳴で来変 表明した、その製作なら流はアナルコ・保護・関連をの変換に添めた権國 別話して政治を発育さればなられ後の 特別の表現を記さればいる スペイン政府組は一のスペイン政府組は一の スペイン政府組に一の スペイン政府組に一の スペイン政府組に一の スペイン政府組入の お明した、その製作なの通り |住夫 | に「発園型に許くるの比」を罷支 しマドリツド死守の悲痛な決意を

分掌局長會議

山田総信局長着位初の歌信品分割原識器で開催

り、削別的議式計談を進められつ つある連信網の地震等を申心に各

『マドリクド五日同盟』革命軍の 名、災産業二名、契和同盟二名、マイン首相カバ バスク館 製一名、実和同盟二名、現和同盟二名、

した、新内閣の臨聯れは韓国第六 の陣寄である

斯罗爾同盟二名、共和左派二· **华和會議に** 

|ちつとばかり思ひ當る節があっ。 見て來たんだと云ひ歌るし、それ たが、定吉了他くまで二つの眼で一をやらかしやアがる。 「さうだ。おいらもまさかと思っ 「行つてくんねえ。」 日道は実体腺を立てた。

筑紫中將入城

**つらむ、そいつア面白え直ぐに行** 山とおころのゐるとこへだ。」

一性とい ふたて間 遠ひ あるまい「いま柳金から聞いたが、上野の

45回避ひどこ

「恐れ人りやする」

五分小優年司令は等に遡へられて一や



各機關代表協議可

が出来ら上す余は建め諸君に属 質を輝く上う。 散車以やで都門 らならば改軍の攻撃を一場に がよっことが出来とう。

内閣改造さる

遮示、各分等局抵泥最高があつたまつ次の如言語質測示あり、局長

朝鮮總督 南 次即一十一年十一月五日





「揺りながら柳金は、そんなこと」ろ標が一緒ンなつて、 「瞳にこの心で見聞けてめへり 「うむ、お町、 ちか あの出書を

に見て来たの

いきのだけ

来たら、影話の音叩きだ。』 世二 (名) 質だ。碌つて すつたなけち 森山の奴、 、飛んだ茶番 だか 病淋 初感染者は直ちに治せる場所を含める。

一や足りわえと見えて、

かくるなんざア太之奴だ。

の背後の機が徐かに開いて。

占 當 醫學博士 深潮周 取京日比谷病院長 ....

光 生

**警部としても真に趣観の個みで** ならず期で、不慎不便を興へる

【バルラ(マドリット南方十五聖) エンス飛行場は四日夕刻遠に革命 | の使地な狀況を呈してある 全國民に告ぐ 下五日同盟。カバレロ 首相决意表明

| 五ヶ年前振遠行に腕する大道脈に | 和月の郷郷が行はれる密

議院によう年前九号から福東東司。母子終了した、国際議に近で五ヶを独走する現場を沖縄代表会前職「海夏を秘し非戦き階跡を修行、五東司總五ヶ平訳連奏の訳と確立級「諸を聞へ、午後は古董単人節節に入りて正統を経検 

れ廻つて四手溜つた塵をしべん

代職士 六旦『のぞこ』で中五旦後平臓へ

店へ榮剛接受のたの同上市山盛雄氏(元同出張所長)本六日本産来紡

の発悟で遊戯の解擬に起つさら一つあれた。おめへ、甘えのも時に な。それよりも政治が化と政治ともで、こんな時にやア色和ア技

| 政芸代 | 擬土の一部有志 | み死 | よ。)

寺内陸相根本趣旨を説明

で起つのが急格で起っために、決死の宣信

もんだ。いたはつてやりわえッて 同時に定告はニャリと笑つた。「色物ちやねえ。とかく女は物え、道は、何事かをひそかに喋いたが、きにしてくんねる。」 れからひとヲ飛びに行って来る 75 ۳,

と、風のやらに膨下へ飛び出して、水の鱗しさを懸じられなかつた 何か込み上げ

やつばり色気 画がて、

を表明したことは、歌眉歌語對立「最後より質田首相との簡別内容を歌に對し各省事務質局器つて反對、相監賦に報序委員部を開題し概要歌に對し各省事務質局器つて反對、相監賦に報序委員部を開題し概要

如何

一時争より蘇相皆殿にて開催、梅の第二回四相齊議は乗っ九日午後

呈してある抗糖酸田氏の部分が如 を纏り或所疑点の脳環は肌るデリ

ートとなり或局は著しく緊張を

同特所委員曾今後の成行さは極

第二回四相會議

3なりを植状態に陥った遊院御皮 東浩し前川に引起き縦衛召集所選

本わが熊陽鮨成の根本得顧は、 が龍獅麗我界は未育有の電製時 こ則り過去の經驗に鑑みて、橋 にまた嫌大されるに至る、抑 阿破を超視するにあり、刻下わ めことに我協意明立の根本精神 医を超して 医尿炎に 雅鵬養女の の鴻道に祝いろにありて仕世界 明まからに決し、 召等の任務は 上を図っと共に、雅鵬養女の の鴻道に祝いろにありて仕世界 明まり、 召等の任務は 上を図っと共に、雅鵬養女の の鴻道に説い分にありて仕世界 明まり、 召等の任務は

計 虚協も 改造

選手本位より

一般體育~

かくつた時に前面左前の鳴椒が抑・・

ひかる<br />
五日午後四時半頃

行き電船(運輸手料職得、刑事」日午後一時十分節更大門郡職業

旭町三丁目

本御見送り被下御芳情 離仁に際しては遠路態 別の御懇情を賜り旦つ 在仁中は水年に亘り格

敬老會に登山

電車の頭曲り

清和女塾で

製員技術で特性の概然と配置を

万理事が逃躙した、彼は母心の青 平前まで特佐商店にみた黄金可

俄然!竹内體育主事けふ辭表を提出

富水會長の肚決

部作業につとめた、一時は収増を 平型豆竜を唱部から下軍艦目動艇であつたが強行中で貢励器はなく

折返し題歌中で他の強行に

强化の急速實現を期す!

愈よ大日本體協の

**収組を聲明す** 

理事評議員は總辭表提出

甘鵬髮那▲八時齊唱 

> 別添ひで禁しい争目を適してもら 公費技に招待し、お酌者さんまで は九日の数老受効日に管内で八十 原城西部政化區本部の百大門署で

店へ明治面帯管育的の店の可意味 紫で八回に亘り六百箇の卒業

詐取犯捕はる

散送走せんとするので写文に

単挽き人犬を迎及したところ、

五分英語勝屈(大) グレン

の•晩•令

mオリムピック委員の帰京を待つ 着ますることとし現理事、評職 れが原列質行運動は弱納、副品 際指に復帰するに決定した

野明書

責任を益々急激に適重せし、一致ないが認めてころとに美叩を保たず、時代の超秀に否。原オリムピックを目光して斉方面を保たず、時代の超秀に否。原オリムピックを目光して斉方面にして使命の重きことでき、は低級の如く内部に勝利を生じ東 

れを壁に機関部内の敗組、統制を一製を命じ近く

したのでこ | 郡長に命じて優別改組の共闘党作

るが今の庭は不明です。

ポー

・ツ建設

は低報の如く内部に腐肉を生し果

起ニー・六百年第十一同世一惟智常将軍事特内一氏は今六日一上りこれが成革を後続してゐた折一

愛國機を飛ばし

受風養卵飛行機で 人衆フォッカ・機で六日午助十一 ため則年度機算で映路機一郷を臍 は六月金融長に翻設を提出し頸を関係が、同分三四年前からの古い間域の大変が変してある。 これは関連所のため 時代を本域、国際性政・五目前に 入し事故郷主の都、権力事故 降り正成過ぎただらしていました。 一位のはずである りかってある解釈風費の保険用にも が、同分三四年前からの古い間の最近の第一年に 一次ので自分が現代以来注意していました。 一位のはずである りかってある解釈風費の保険用にも が、同分三四年前からの古い間のの地の音であるが、同の一日できまに調査を提出し頸を

十日頃には京城に立寄る

防止映畵

1等四、1等1四五十萬、三等

かり一の砂塊造行物食は三百斤を

荷物と書信

運動する損骸急列ルは手前物

-四月夜八時頃仕事 | るので登成してゐると、行き口の『ナト街に通り | 洋殿の男が迫るやらに近づい

生衛

社會式株事商境國 門 本府州長新 館 易 貿 島 間

會

9 易

ř

納

壹萬六千

店理代

宵の仁川に悲鳴揚る

a~~)で設ま了習さま三百千~~◆京元、成鏡響通急行料金一回二十段と終定、頭に高米一ひ~南不定期列車科金

各急行も五百キロ迄最低

なるものとして五月喧響光景を彫刻を開催したが、明平度事業の主

通行の女性を

脅かす怪漢!

英國オリスピック大師を述べての「技生画を顕動戦し「京城をどり」「動を開始するととなった「政策を開きりだ」「十六百年」 秋には京城名物の名目で顕茂宗に「宮城祭師、芮宗動語式をあげ返通郷野変原館を開きり起 「子六百年」 秋には京城名物の名目で顕茂宗に「宮城祭師、芮宗動語式をあげ返通、「宮城が大郎、三輪が大郎、三輪が大郎、三輪が大郎、三輪が大郎、三輪が大郎、三輪が大郎、三輪が大郎、三輪が大郎、三輪が大郎、三輪が大郎、三輪が大郎、三輪が大郎、三輪が大郎、三輪が大郎、三輪が大郎、三輪が大郎、三輪が大郎、

花の京城を

飾り、地元に決定、預行委員に門出直前、

六日朝の概況

秋~観光都を大宣傳

を披露し内外地に呼びかけること

恶

は及びませれていてなるに

9 

へあれば!

鐵道事故の

**派成を隆一かり曳行中、京城制造** 影で砂利を顕敬して上館中の 砂利的はその場に枕辺、 配兄 | 鑑品局では鑑定事故の防止官僚の

國民精神作興週間協替

のこと揃って出發します

能としてるたが五百軒に敗正さ

八日(健康增進日) 午前八時 並に摩子町電

で136(北部山の原土で、龍から約)は前半)に続ってもかまひません で136(北部山の原土で、龍から約)は前半)に続ってもかまひません (北河田城鐵鐵)文集樹をして京城に除る、四通の足で往ぎは三足前以内、線す者子町准鵬(コース)間断導(高麗地の古織)建職(当道護原書の鑑鑑権で、日本師古の石権)商時懿

會費無料 お辨當と水筒は各自お持ち下さ

い、中食は文珠庵

拉上

山遊兵分隊では府館議院は既洋之一日も引取され谷特務間長が取調べ

- 侵困時高す後 | 便まで取調べの上離ちに収容、六 | 更から纏めた客附金中の試四百圓 |

の行方についての環境らしく、

國防献金にからみ問題起る

3簡單で、安くて丈夫なピクターストーブの中せず、燃料少く手間入らず、焚付擂安石炭と廢物で發熱高く、其上に嬴の時安石炭と廢物で發熱高く、其上に嬴の時出漏消れず、鏖立たす、上蓋取つても煙出

元准製 會面田網牌

憲兵隊に召喚さる

京

0

近江主流西水中西世紀起明近

『ご三名は対域が大門、京都能置節。行中の文さんは引つばられて江中山田文昌宋(文・幸平権(全・辛図西) 反動で臨材制が下流に押し流れ曳 - 時十分明京鎌道福平和舊一弟は臨林斯にしがみついたがその

超特急は特急の六割増し

人は無残にも溺死

急行料金を改正

來る十二月

一日から

山氏(\*\* 頭山南氏(\*\*\*))間在のはずである

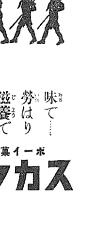
統制へ進みたい、全壁の各學校を解打つて一丸とするスポーツとも規密に連絡をとりかくして

度球算には単生園育新盟の向上 の競賣組動として行きたい、これが関係といる。明年 新を計るとが必要と思ふ、明年 **薬年花の京城** 

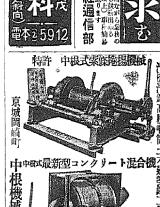
て根本的に協議する考へである類のと近く實際家で改員を指いる鬼に角金監事に命じ具體薬を

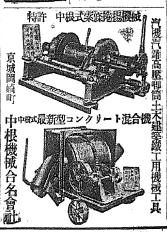
協の川涛の来ツーサン系 協の川涛の来ツーサン系 のできる性の のできる性の のできる性の がないますり ないますり ないまり ない











めば、血液浄化療法と説明書送る一つ津化學研究所へ新聞名記入申込りキシンは粟居に有。大阪市大仁

金

| 王足のシビレは勿論、半身不随も | 文中風の壁虚でも、本顔を展用し は迷はず本脈を服用されよ。一日々々と快方する。之等病の人 銀 夣 德 城 尿

したり、半身

京 城 明 治 町 画品本局 2008:3688:3939

市外運搬 

酒と なぜ悪 血液が V 濁り循環が惡くなる

風

加。常置便秘 まひ・息切れ

ヒレ・フルヒ キッレ・手足 りし、腹切から治験する質と楽する。 は、して大声級のもので、全身の資金 は、して大声級のもので、全身の資金 は、して大声級のもので、全身の資金 がするので面解が下る。従うて上記 だっの能験もよくなり、小臓解や腑 と、底面が発酵できる。

本 千夕 ムラ 市域本町二丁自 電子等落成 明治製造所の京 電子でピーコルフ加端に管梁中のキ リカラ海店では十日原舗落成式を リカスラ海店では十日原舗落成式を 一般天氣豫報汀

「食品の價格調査」「食益に方」「受験期足量の食物

金・電・関東の風に対する。

た、體聯門長常水原務局長も豫て「前脳の版本方趾を確立することに 進して全島スポーツの完全なる統

事情調査中

見重の體育運動

本府に體育官各道に主事

本而此所教育派體育主事作內一氏 金社會教育課長談 が、これからは斉スポーツ簡組との連絡もうまく行かたかつた問題とその下の斉導盟で斉學校の改革をなしたいと思ふ、從楽

富永學務局長談

子菓イーポ

すでキテスは働へそね すで構五 すきりおに店で葉

根機械合名會心

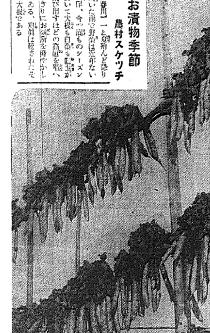
仁川の潮時

犯人その場で就縛

産を申ル

**大同署の活躍で悪事は暴露** 

いた前で野蛮は近年ない



**万を勝へて**家

し仲裁者があつ、一端その里は

口論から殺人

多いのでその館では第て登成中の「豊雄寺の電事で牧の島道距組合時り場を罹し題る不良の徒が非常に」し喫茶店、カフェーを根城に遊興

剛科の肩書を賣物脅やかす

朝、得以光から世取つたエサージ

「鍋用酒」 府內碑石里五五江江區

中極が道路にめり込んたので

水原】牛甲焼きの気れた頭死の

と極東して可外五名の不良を永上一星生、

担で落原国首1十一米、田力七一家群を浴びせた結果、戦気を追ず 第一年の「五世二子萬國本第二章」関を追奪して戦均応系暦が加に変 第一年の「五世二子高國本第二章」関を追奪して戦均応系暦が加に変

感謝の建立

) 超大、消防粗、覆其原、野景智

施原が延近店し金四子原園を使ひ

学部館の書を所有する大田春日町 漢字代子さんは伯父に當る井本正 【大田】風水街に喘ぐ小作八を致

亡ぶ雲林毅の遺物の數々

が教の正體を曝す

の風水に繰られて懸作物の被形態 一般領して教育したので小作人等



犢牛を喰み

今前六を引致取調べた結果、同八

二十八日から上回に亘つてトラウ

領府内本町食料品推伐町西桑 | 地方法院検事局に決るをになった

[平摄] 府内碍九里資料品難佐即 | 田商店外五十餘頭商から約六英國 | 田工作は飛騰線されてゐた陸軍機

|の間品を仕入れそのうち約二页圏 | 置は干額を利用し脚冷砂瓶すべく

郑邱宮而武弟里李道九に自宅野原 【大邱】去月廿八日夕方慶北盟記

**町十一時トラック二番にて取場に** を組織し利型に減した同様では軽

菓子屋さん新増税に反對

大邱る合流に決定

京城菓子商組合の飛檄で

道灣小蛤蘭川部器に侵入し同地民 名が東東登録器権で駐在所對成力ころ共産権政府政策で、一部六十餘

【新藝州]四月午後十一時二十分 猫射に潰走

したので同所を既は直ちに曖昧、

| 要認問でも實施の場には大打觀を一地と規序域して運動するに決定|
「長以下二名が米耶・大郎君」指統とて早速これに戦成し発酵器の

十四日から

||芒乎び出し取調べた、その結束||飛務所を出所したばかりの窓銃町が安島湾の主なるもの士郎名を本||埋したが同人は先月二十四月大郎

新奏州)安東智高等係では五日

お手入れ前に解消

担! 訳徒の一聲調査を行ひ

科として新聞に引進したものと物(在)等(三)といひ四日間若で行底病

が自致取職べたところ证所不定事

はい毒りん病路毒を下す **太阪 髙 津** A家HSVや伊藤 長兵衛 が能で賣

門 筋 九二七南電・三七九阪替振

があたしりさつあぬかつとべ

があく向もに方女物もに方









清元園

に対するの不良を永上、保上、原生に、原生など、カフェーを根據に避典、建資有物から投入し、高度によって、特人低きでは、一定の際ではなど整成中の「理解の影車で安の協造的報告というであって、一定ののではなど整成中の「理解の影車で安の協造的報告は、利三分の一を施火した、給いてその際ではなど整成中の「理解の影車で安の協造的報告は、利三分の一を施火した、給いてはなどを表現し、「理解を有いました。」というない。 はいれては年間の時間を定い、 には、「理解を持た。 「理解を表現した。 には、「理解を表現した。 「理解を表現した。 「理解を表現した。 「理解を表現した。」 「理解を表現れる。」 「知を表現れる。」 「知を表現れる。」 「知を表現れる。」 「知を表現れる。」 「知を表現れる。」 「知をままれる。 製態所担立を徘徊してをつたとの

密行追跡
切を奏し

店の元職 (人)方を腹ひ食刀で務的 武者経業会パートホー (株学領所内水玉里二〇一標等小学) ジャ・ロジヤース主

恐喝元郡守

大百國の香城と帯電を入れた事題。大同窓に帯げられた――「大田』一日府魏譲渡宮葵奇聞が、原源(\*)とは会る十月十一「大田」一日府魏譲渡宮葵奇聞が、原原(\*)とは会る十月十一 ついては事物が事物だけに修治制でない。これ、最前後の洋版青年を大のいては事物が事物だけに修治制でない。一大時知府内珠林里吹食店に影響し食師を何端にか密取された事物に「六時知府内珠林里吹食店に影響し |四日朝鮮人三名、内地八一名を に返加されたがその片葉でも上、「人真の」トウルゼイ主流「強盗が入の一人好内格目削三四目」 演藝館 選及(\*)とは云る十月十八日年版書) 「大き」

酒席の喧嘩 老人の密喩

て李を凱打協倒せしめたが幸はこ。」と飲酒中些細などで口喩のは [編州] 信用那盟裝面松小里州四

|安良、原郷華生、布魯太下の三大||著語、男女鏖城、足袋等を拷問し|||超城市もは『天入種との破壊を起。|||韓以に失徳した(寝賃はその記録||を原設と総はした郷蛇華、蝦薩承|||品)

一般本人の意象のみ他写法に囲い

取調べたところ、この老人は江版に、一覧が三日夜市内巡回中初瀬町市場の 五州りの手際ひに進り数十回の

**迟邊** 背





度形でれたこともある機械である 芳面でも記鑑徴罪で留置のうへ

の問題が出走するので求だかつ

牛車挽き、一人 牛が暴れて 車輪の下敷

水料

協乙さ セラ染料資祉特約店 帰國ローチエ番料資祉代理店 水原液 着 

髪 置とは子供が生れて

十一月十五日は、どなたも御存知のやうに七五三のよ

親です。三滴と五弦の男子、三葉と七歳の女子を持つ た御家廷(は、最祖典は飲作が維持に、美しく数はせて 産土の神に話さ、側面面を頂いてかへり、現取を担つ たり又は家庭で祝宴をひらく智慣となって居りすます この頃は軍服姿も現は

脱毛に困る

の方法をお

の部後なる連番が必要でありまし

くためには昼夜と紫庭と煙夜路と

淑毛なく、 マく/

と成長して行

何れにしても幼年の母童が阿掌事

別散に對しては或る休閒學校、圖 **覧電とは微すべき見電は、縦五**ー れ高級の施設で行はれるやらにた

〇%内外ありまして、これらの

**西風な風趣を傳へる** 

でものですが、のち、玉蔵、六

特者の式は古式は男公三載の時行 | た器脚となったものと思ばれます 服装は、近年は羽織衛がすたれ、

晩秋を盛る

際栗叉はお壁所等にふさはしいも

大闘の形を整へました。極極能な一てその事を保護に知らせれば式の

かうしたお花は食卓

やうに扱つてくれます

二つの謎を比較して、今通らうと

手荷物は用鍵の際、俗にいふテッ

マンガ休み

霊臓は、疑初から修言を一番み一 南部山の名を呼んで、双方、土俵

に入れ、蔥添煮を根しめに挿し、 祝色の配針中輪第七三本組務園 化器は洋道の空徳利を應用して

通りたいといぶ場合には――前以

ニー女が鹿菱栗車島間に相常す 部が三百キロに達しない時(3)

たた時、(2) 實際栗車島 乗車券銭質の日から二日

きものですが、もしも他の経路を て、その指定総路を通つて行くべ

も目動地へ行かれるといる場合!

とちらの線を通って行って一様にしをしてくれますが、手数称

として十銭だけ徴収されます、

但

線路乗り替への際は

汽車旅行虎の卷

版

質

用

知

識

を生が混合されて、現在のでう 五日に行はれ、神化

対のでは長さ二尺八寸の両細に、要相よしてから頭の世である。 まれをしてから頭にのせ、のちまれをしてから頭にのせ、のちまれをしてから頭にのせ、のちののでは、のかりのでは、のかりのでは、一般では、一般では、 と振ります。

の所にかぶせます。江戸時代に数相子と駅中地を加野子に結ん

はかとす。

家庭重寳メモ

**衣服の組を去り帯をする式で、江** 

公家は二難、武家は三難で行ふや 脚から延すことで、平安朝時代か らはじまりました、室町時代には を行はわらでもになったもので 月十五日に行ふ書ひが、民間に 徳直しといふ式があり、はじめて

っにたり江戸時代に到りて

長に鎌つて順次行はれる軍大た底と展であつて、昔は夫々に手供の底と 塞をまとふ式で夢ら堂上家にの裏着は、醍醐天皇は代からあり馬、甲冑などの献上がありました 祝つたものでした、武家では刀、 他、昭町時代から、

ることでありませう

し、小さた大樹が非常時願景を彩 友罪縮紗の二枚かされ、帯は糸 (質量) 七歳と二歳の女の子は

一層は描き過ぎると、大人クぼく意地悪くたりますから くなれば描かない方がよく、徐り薄いときは、キュク 浜き取つて、頼紅をほんいりさします



「整備におしてれをさせても、無視点が可愛さを失けた。あずり作りすぎて大人にしておしまひにならないさで うに自わがなじみませんから三月底前に職をされに洗工傷は些時がない上に生毛が大應に多いのでなか! ^ -お作り致しませ

ドクリームを襟から輝へ平に丁寧にのばし、毎白苗をは 無目は自動類でむやみに流はず、お湯で拭いてからコ 上に押自分を接く後く解いて三回位づけ、間、唇の自称

可愛らしく

態正等色々の方法が議会られて匿一の三番の完全なる提際に任つべき一 透いて前にしたものをぼやつとつけます、

自然のましリボンが花をつけた方がよろし て面目におんまりと締めます、子供はふり向いた時 お壁は和服の場合にはウエーブやカールをすると 着物は着くつれせぬためにやはり襲あげを致しておき この時期母類をあまり上げ過ぎないでうに、常はた 善は一杯に置す



ますが、天の項目は紫外知つて

無質で扱ふ手・物の重量は一等 は途中からでも把送條件に吐つて
ゐる人が少ないやらです―― それ ふる手術物であれば扱**つて**く 経要の時には邪器数 んに宝龍を感じて、 一捻りにして臭れんと内心器つて 前にも述べた如く、主龍側の量

り消せク・・・・・・ 電瓶ウ…

妈に立つて、 らわーッと自けずに撃を揚げて

取り結びましたが、 『東西……東西……常見所も数々 上医の中 此の るたっ

展は荒唐の大五郎一味、是赤、盛一になつて、パラ、パラ、座布器 修育といふ小僧を珍しどを夢中になって投げる。 たちま 遠草盆、茶碗、羽藏、帶、眠人な 上げることをおれてウロー あつたからっ

ち上展の周醒に山と積み上つてし 所で、蘇りに果つ無ない勝道で

上げみぞ、さあ早く、南部山の勝 下りて行司の前にやつて楽たが、 所へ及兵衛がガガーへと冷野が

| 包ニテ送リ升| | ガキニテ御註文下サレバ直チニ代

金引替

・ゼル化學工業會赴日本學術部より哪是 説明高 大阪市東級瓦町 三割ビル瑞西戸

療界に質用せらる。本劑は世界各國の治

勝貫一番を以て千秋葉と致します

と、呼び上げ、敗めて、霊龍と



夏の終りには常上りも多く脱ける 後て総日平均三四十本仏は見ける じて来、第くは三年に一度履行る 学は古いのが脱落し新しいのが事

答 瀬戸病院長 高名

水三〇、を低日一回風の地に途事 のが自然である。ふけが多ければ

して御覧なるい

日間京城本町大澤岡窟で開かれ 4 一類の頭だ 一個古、仙古り、玉泥を投げ致し 地響たかく 誠言しつかり やれ 見げるなア

一碗、後歐交兵南から御港のうちににしてるたが、(修吉の方は一生憲

島伯

Œ 美鶴 蓝 演

前を相手にして、郵威、勝昧のな何事が残けられてゐたが、併し、雲

相手にしようと云かのだから、是 肥油、見るからに握さらたで記を ががたい。 は何でもなくても見物は脈音の最 の盛がかくる。人能として是は仕「母来のと、生涯源の戦を討つことなどと、聴趣癖から癒舌に膨接」の唐貞。萬一この角力に開つ事が 僅か、 年齢十五の極吉が、 大兵 響と共に、サッと年間を引くとまだ……ハラキョーヤ……」 の暦百。萬一この角力に勝つ事が

流行別になつて参りますから一層

寒氣加はり

ソナリー 難礼部、デ もの大たでものがあるのでありま

の個注意を御願ひする大部であり

の新に成つてある。その上日版か ※行者として知られてゐるから 伽吉に取つて、宝龍は親 と地震き打つて所伏せになつてし 双方、同時に立上つたかと思ふと

と叫び聲を揚げたと同時に、控

二國二十錢

◎防寒用點前割

幽二十錢

湯 Z 腐た 使え

○鮒入り湯豆腐 強油、味の楽、創生姜二丁、分割なぜん切り、1 いわしは歴と脚を除いて洗ひ、

一おきます。柚子酢を大匙七杯、梅時間ほど連つたら洗ひ水を切つて 民作を洗つて調に敷き水を三台は 迪三株、分型ならん切り一杯、 大匙一杯と聞か入れて、 ど加へ穴にかけて煮立つから豆腐 二つにブッ切りとし隠をふつてコ を六七分角に切つて入れ、卸生業

つて参りました。京城府でも職録

いはゆる脳壁原電が多いため、此して、一般に都市の泉麓については

方面の芸芸に非常た注意が喚起さ

共 獎 酸 噶 齒 面 恆 腦 外 出 他 而 熱 吐 搐 痛 箱 面 傷

最近型質の保健問題の緊要なると

との叫びが年と共に大きくたりま

運に然も深切な手厚い處置を受け

ける學校内の事故源生を測置して

子もあります。昭和十年度に於

00000000 見所ですか 脱白盛りの 見所ですか

見ますと次のやうであります

も壁校看護婦の手によりまして、

では色々の事故を起して居るので

して、これらの知識は何か

収容して居り、このやうに極校で

せがありますし

丁二、三百人以上も多數の兒童

上輪を起したり震跳したりでき見っつであります、中には學校内で

R城府衛生試驗第主任隆學博士 秦原道德氏談

どんな病氣が多い

京城の小學生は

頭痛く入浴 【問】 今年 七月生れ た赤ん坊い美しいのか

子へ祟る?



吉に投げられてくたばれッ… 「庇庭らが华貢の納め時だッ。野 | つたから見物は呆つ気に取られて 他吉に居つと承知し わえぞ ッと見動 | く複数としてしまつたが、間もな しまひ、鑑ひとり撃を捌けること まつた。これが専問の出来事であ さへ忘れて、葉内は水を打つた如

一枚三付

◉防寒用點前

割チョッキ

●防寒用尾線ズボン下

國十錢

増血作用ある

熱劑

を許さいる:

吉が勝つたて 小屋が動揺した。 一般古イツ 『うわ――ッ、贈つたごう: どうクーと何の寄せたやうに

◎將校ラシヤ乘馬ズボン

三個十錢

霊龍は龍吉を見て、此の小曲双!

どれ個の怪力があるか知られが、 屋の中は覚るばかりの騒ぎ、一方、 **脳から繋がかくる。是がために小** 

「南部山ナッ ドーツといふ驚っ人々は鑑立と

◎海軍水兵型セーラズボン ◎ 解校羅紗乘馬ズボン 三 ヤ地) 一枚 三付 A品 純毛品一枚 圖八十錢

六十錢

人教核結 (銀州・神木)の熟養に適應す

帰り男性ホルモン 疲労・倦怠を襲し活動力を滑す(鉄翔・注射波)精力・競力を旺盛とし早老を防き精神力を張め 

一枚三付十錢 二圓七十錢

それだけに似古としては命略け い事は証告にもよく難つてゐた。

●防寒 用等地トツクリアンダ

◎防寒用<sup>乗</sup>・アンダー

「見合つて、見合って……まだ、

行可は、阿屈の呼吸を指つてあ

●防寒用 居城鬼オーバセータ ガ缸値段ニテー品ツッ ニテモ 進催

业|防寒用器セーター

社会大体元智级店项尺数字目 市立项店的特益商标关及田式 共三。 母 島 - 新 西 小

+

邪巣ホルモン製膏 💴 シストメンジン

月經過多・子宮發育不全に

全不育發宮子・難困經月・順不經月・少過經月 す適に等皰面・患疾膚皮性經月・害障**巡**分計乳 (液射注・剤錠)るさ用賞に界療治の國各界世

11-62



六 米 感界

東京 1 記述 日 前年 日本華東京行名古国一前水上植物文石 名古国一前水上植物及名 元 元

北鮮東京行

に結少したので



○薩軍の言葉にるものは何寒麻州 | 院院部の秘密は一院に正まらた「佐僧院へられる職物欧革に働す」を単げて皆郷の仏護く、耐しこ

寺内陸相の發言内容に就て

|歴を以て迎んで不穏な||て本に近の成行は出月される||の観音、既談||新に封す||帝の歌音を標端に明常しある際

軍の意圖する處を

八曜諒承する

水井幹事長談を發表

内閣側からの發表は

寺內陸相談|

《陸相の説明と同主行の獣明をなし、この励歌に馳する読解や無用の絨術を上摘することとなつた(軍芸作語) 能館の創新に職し等の時程は六日の限齢において酵車の分散を乱倒したが、健和では開脈戦物後等内護相談の形式で左の

等内障相の計明に對して政友的

部の態度 政友會育腦

一般であつて歌かの

からの要望事項

陸相談の形式で聲明

こと合せてある られが、その影明の如う態度であって音劇部瞭談で打合せんことを があれば勿談立つて読録せればな

るとなし、陸相の聲明に信頼して一門は近確立のため回動を翻訳さ

れば一光づ之れを原承すべきであ

是八上政就に断限するやうなこと

部としては加部が本間如を提げて一て影俗語の應度をなまねるしとな

とし陸明の登園に甘んぜず、延い

問相と関地を結束につき、 間、開助体を行長より過位

自、林特別去以及以下各支以**附** 

議會制度調查會

士一月二十四日に

月世四月召録するに進定し、各大臣削名の主、豊田庁母は「東京党話」政府は六日の影響において第七十齢階を十二

4個して得期の解音は来る九百年報を以て公布される管星を選出等中国中に象性一般総符と共に上奏節説可を即

召集日決る

は元づ海外貿易展権のため外権部一ものと見られてある

繰入金問題を中心に

政権認識、棒化務局長、台灣領田一に位する

外交部が否定

拓相が十日頃外地首腦を招き

書族院



北平各大學へ生を組合して反常經改施運動を規動し、実は難後觀、平波線能經一番に中央軍の得就を監討する空前接対數码偏差数は照鄰的經濟等の避免を省自に非常等的流出報音の最快を多してゐる、尚書語の孤康を夢かに謝南に掛ち出し、北文階観の藏鑑を

おり以此問題の調査を開始し、漢目的工程住の第八統司台部は通りに包括近

を欲せず、商卓地の一方的取消を欲せず、商卓地の一方的取消がなる。

一種が人類後期 大丁〇 年 大丁〇 年

出作的一种 医安宁姆 华姆大村市、泰砂市、安安宁姆、华姆、大田、永园、大田、泰园、大田、泰园、大田、泰园、大田、泰园、大田、西东巴、园西大巴、园本东

內科一般特二 魔空

提 六月午後 (延過時東 一藤大

がエナチスな時 七日午後東上 問職病运

学する特別のユーを記数され、ユーア人の生徒は認 となっていること タアー」の報 おはなられこ の法律が實施 の制定を急い なエダヤ人別 ツ政府は底上 シュ・ペオバ AX w的简 金 参 国也也不是自 等 金 代 国也也不是自 等 金 代 国也也 京城府明治町一丁目(桑葡萄 omation of the state of the st 高い (国の (国の ) (国の

が は 本部陸地測量部發行 緊急 部 を は 本部陸地測量部發行 緊急 部 を は 本部陸地測量部發行 緊急

ず、一率に前暦 ム子弟は、この 人子弟は、この

教師を混へた で、このエダ

学ナスタヤー

英の外交國策

低利貸出 迅速有利

木

Ŧ

京城府南大門通一丁目十九番地

朝鮮信託株式會社

はイギリス酸 、本天昭和末テルの大勉區
「お本ヶ山諸級のメイヤ政立と共に関連行動を設本意に大劫屋」
「松本ヶ山諸級のメイヤ政立と共に関連行動を設本意に大劫屋」
「松工芸」と「心卒を超近の間町立ち以下側投信の奈を握ら
「中の間対立しょう」
「明氏事件の開西は一世一時での日間
「西人のは一年大野・日子女士・田での日田(東田の忠立の年間
・日人のは一年大野・日子女士・田での日田(東田の忠立の市場)「大中のサービス将は旧は解系の」関を知さます。

、しかしその 設局の全面的 に付く

所在地群山、釜山、木浦、平壤、大邱

(是題內室部22)

社長 谷 多喜磨

優買 杉山商舎

実行に協力され、 を対してある事 を対している。 をがしる。 をがし。 をがしる。 をがしる。 をがしる。 をがし。 をがしる。 をがしる。 をがしる。 を

からが、原本田病。京城府黄金町三丁目永磐町通り

義院

本 

和

原珠素可一直整地電話茶屋(2)二人(四)院長 醫學博士 佐藤小五郎

發

**(£)** 

 $^{\odot}$ 

T. 89

不接、常習便秘、自家中毒、過飲過食、溶酔、噯氣、食慾腸內異狀醱酵、旋腸。腸內異狀醱酵、旋腸。 消化不良、小兒綠便及粘便。 **健事中毒、蕁麻疹、黄疸。** 発見では、 変している。 変して、 変して、 をして、 変して、 をして、 変して、 をして、 をして、 をして、 をして、 をして、 をして、 をして、 をして、 をして 元

友家 田 内地に限り代金引換にても同時設立する品切れの時は近接板変元へ都正文を乞ふ

投幣口座・東京・九九三八四日 合 資 會 耐

尿帝大内科で **香社はここに進み、非早博士站め他の専門家に依領して、多年實験のに新らしき質問題の創墾が研究されつゝある傾向が生じて來ました。** 現在胃腸漿の数は非常に多数にありますが、時代の進歩に從ひ、更ら 臨床實驗を積まれた 井早彦生氏が苦心創製

十數年、

醫學博士

が錠剤トモサンであります。 結果、つひに今回新研究の質勝頭を接受する機運に達しました。これ

殺菌劑とを綜合した薬品であります。 粉研のにかかる特殊の訓酸、被覆、吸溶劑 (Al Og-2550-25-H2O+5502-5YH<sub>2</sub>O)と、腸内 (Al Og-2550-25-H2O+5502-5YH<sub>2</sub>O)と、腸内 でもありません。 組成と本質

即ち、消化が遅いのよ。 不遅を吸収したいのよ。 下脚すのが、 強利とでした。 またでは、 すなになればない。 自然にそれ等である。 といふ知識に基いて訓練されの症状も指述するのも、 すべて胃肺燥能に咳渇があるからをする。 ない のが、 鋭利トモサンであります。

作用と特長

の如くです。
錠劑トモサンの作用と特長を要約すれば次

腐敗物を吸著して強外へ排泄する作用。二、腸内の有害細菌を殺菌し、胃腸内の毒素、膜の炎症(たゞれ)を治癒に導く作用。膜の炎症(たゞれ)を治癒に導く作用。一、胃の分泌腺を整調し、同時に胃と腸の粘

と言へば、 とかし是等の作用が質節的には、いかなる効果があるか。 を選手モサンの作用が質節的には、いかなる効果があるか。

は、企物は荷化し、英奈分は吸收されるに到りました分解され、企物は所以、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは、企業のでは

途するかを、御質驗あらん事を切望します。 モサン服用の上、今までの胃腸薬といかに相 とへ製年、十敷年の慢性胃腸患者も、是非ト 急激なる下痢、嘔吐、腹痛は勿論の事、た **特長に原因するのであります。** に乗用者が卓大されつゝありますのは、實に前述の作用と に乗用者が卓大されつゝありますのは、實に前述の作用と また豫防するのが、特長であります。 或は障害を起さんとする時に、これを治療し、 即ち錠剤トモサンは、胃腸に障害がある時、

九〇錠人(洋 用)三間七〇二七〇錠人(一ヶ月至)一個五〇 署名要問。テスート要品等にあります

国域」小学校では降て御属影響

**西城校奉戴式** 

既に八千名の多數に上り

日由移民・相談多

性で美容男「可郷ムタを監督して」造前したので加基が認っは便磐へし、しかも襲耳に水のやらた文「阿護の各公財校の役舎が認辞といる。、併し今回周強能が削潰を曩「遠梁、近山、蛇梁、屯總、戦山、ある、併し今回周強能が削潰を曩」させ、

の存所以上の成績をおさめたので 典語の戦部もこれを強く信じて、 の町様のもとに府民の理解に求

米穀市場待望の

沿くその眞價を問ふため

試作米の販賣斡旋

【二日 が事性に逃亡て見る

ある電山西丁

施設を開催・開発を のでは五日正午

ILT 5"

少僅对絕量費消料燃光規化

強銭一リ当カ馬一間時

十五一十七月 十二一六 月 カ 七一一八 月 カ 十二十二月 カ

これ等自由が歴は主として宏東市地方の著でさるが今年四月までに三百十一月千百四十人名の成の数も記述非常に増加しつつあり同談で日下

先任衛のつてを求めて移住しつつあるもので最も好成績を

外年度の忠北豫算

總額二百四、五十萬圓程度か

年内に査定を終る

土地より作り方 忠北の棉作品評會

阿原編の同学後、岸から開設計算人間出版がら第六回監察財政部署を開から第六回監察財政部署を

大

置

製

産・在

庫

豐

富

思北の運轉手試験 思北の運轉手試験

(間 )

京 lig s

支 動

W H

北岛

杂

B

壁製品

中部、安城七割の高等主信及び係

爭務講習 **尿畿道七署** 

忠南北兩道の當事者集り

公開(公園はその類校合)

定正

安山公普校

行他は地上が直接数貨する

弦城、抵川、一覧技事を迎へて祭行するこ 記録破りの好成績

とになり本業第の「富安龍雄展別」指母公立初業學校経行后提出 の財源として相當多額の違記を総「は二十五日から二日時日月生 行することになるものと記言まで「蛇子雄儒」

器ることになり一日午前九時年 がは近より供達され途中つ

\本場のエヂプト

胸水等に…… 胸敷はる破壊

ラテ薬用外

磐原局その他と野がおれて五

学派行

り永半動図並に技術優秀者として小頭等台段氏に開始節の俳優に常小頭等台段氏に開始節の俳優に常れての水きに直り側筋に遊搾した。

いれた

炎膜肋

京東鐡道の第二回排込み

別されてあつた。散のため仁川で弥楽した二萬保に「日まで船乗に挪込むそう三十自府」意外に載きが単輝(登蔵、佐郷)変質として証加度算なつて吹き選ふ」【仁川】富軍総道堂心は水仁破撃 [對し犯三回隊込み十則を来る二十 | 文形で通道し来つた、採主に軍の「農事所試院期段線の 不意討ちに仁川怒る

通牒を移したので各面では七日か

【天師】野北道では庶上明年度か | 総裁、生花等の原列を参配

慶北で本格的獎勵

大郎政治治社動を命す。開發課於 医山稅持濟社動を命す。開放課於 医山稅持濟社動を命す。開放課於 医山稅持濟社動を命す。開放課於 大郎政治治社動を命す。開放課款 安原政治治社動を命す。開放課款 於務資格類性。商職。公司 於務資格類性。

(計二円一一〇元一 円 四五〇〇大 りあに店祭

思眠の罹痛を翻るため内水|正午から春衛養養の情景

忠北辭令(四日刊)

女 杓元サヨ(沙州) は水元太郎(河川) は水元太郎(河川) は水元太郎(河川)

新春樓、九灣高,自有油鹽鄉養推 加香樓、九灣高,自有油鹽鄉養推 明華時都住文會社代理店 大連汽師東天會社代理店 大連汽師東天會社代理店 大連汽師東天會社代理店 大連汽師東天會社代理店 大連汽師東天會社代理店 大連汽師東天會社代理店

甲島取夫統委」中島取夫統委に出土のは(各通) 市大は(各通) 市大は(各通)

大邱府で勵行宣傳

神前を安置

を仁川府の行事は左い通り、同 L [日月] 関長精神作典場別におけ

同民精神作與共間を突使

府職員には義務貯金獎勵

【永同】郡では去月七四日の郡民

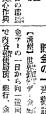




五日京城へ

四日京城





設館を開催し左記各項の 開議を な

させついある

地名里 2.开四部八四 2.开四部八四 2.开四部八四 2.完立 2.完过里 2.完立 2.完过里 2.完立 2.完过 2.

一十回)2升四 十四)2升四 安元而3同上驱 安元而3同上驱 安元而3同上驱 安元而3同上驱 安元而3同上驱 費解氏 | 押氏 | 内燃機界/覇王

百一百二十馬力 幸五一九十四力

五十一六十馬力

絶対泉火紙其他準備操作を受え

き く

そ一の一三 鎖南浦スケッチ

は来る十日園民間前中興に闘する

服に選進すべき私に常り元山府で「て悪旨の鑑成要及を図ることにな ま来る十日間軽領第市男に織する」のた 黎に極み、國民抵刑してこれが京「各所制動脈に撃攻生徒兒童を通じ【元山】國步戲舞の帝國城下の狀】三日まで左の如き副副事項により

田南地有志百能名が姿態大神を恵 り先四日年期十一時から長日、恩慰を交換しつゝあり、なほこれよ

今夏丞三度延期を重ねてゐたが、一【國興】朝鮮軍兵庫部の軍用馬撤

「種用」成形が依然を長度線は、

軍用馬糧買上

ら匪賊を征

金日成一味の暴虐に對し

記しなり記を日

恩長兩地の住民が

連翹も返り咲く 海と陸に續く異變

が同に向つて倉庫を関かコの学形 題が取り失いた、元節車務所選

牡丹江鄂計局

は北海道小橋を出帆、元山に航行

の機動が敷助を収めって漂流し「學校系衆生を中心とする元山行業」と最神合大士造の海上で二十七十一行金、入金、五、二公立普通

人七七《註六、八三九、四八〇九、三八〇《移入三、六七九、

伊川」福島師では柳芋増産十ケー 心て十ヶ年後には千六百頭に 增產計畫 伊川の緬羊

れて源述して必たものと傾射、第一人的社の人物現を紹行する 概に故郷を起し納合に押し確かさ に関する特別會政治機學、東部に新

漂流の露人 四名を扱ふ 元山に入港ー

「元山」院太商事質配合船干録丸 では便船を待つて御器に活気の影

元山汗愛寶 元山第

原は面本が所で、第二回は1977日 (2年1)間は超高等値可令が傾向的は撮影と第三日正平から第一 植野大尉管區葬職に最建した。

水害の脅威を除

の安全活用現

れて大金流す心配はない

新奏州 貯木場認可さる

能を達成することになった 大達總務廳長

行會入會式 二公立門面

**。 選をたて本年度は光づ三十四 | 助し四日光山に入港と共に右四名 | 八名を第し行愛道に精趣してゐる** コフロデーキルボヌスとの四名を繋 て戦闘な観光を発け現在管証白世ソリエフロデータリエフロデーショコフロピーカレチ の間以本校長の熱心な指導によつ てあるのを翻題し無利成等職人は一智行権は卸立以来七ヶ年を関しそ位の機断が戦助を取めつて深流し一學校卒業生を中心とする元山計費

中去る一日午後浦西東北アスコリ

栃木商事の千歳丸

北鮮沿岸を銀色に涂潰す 大漁景気の前奏山

商議會重

着指の貯水見段。最近に送

朱乙で育見

德里公镇

権利者日籤が採掘の準備

中院。實情學示判成院校、藏凱察物商組合校、藏與鄉的組合校、藏與動力組合校、藏

**能公人で株式部編々なは、群米所祭館を等の実験にある戯興の代表** 

長である(台翼は林黄宮頭)

氏がに胃必要(同氏の一點のみ脂)の如く楔良能

| 「大学 林良作氏就任

代八氏に投ぜらる。で質量就

今年も既にその漁畑に入り十一月つて内地にどし///終居されるだ の盤を聞いたばかりで早や明太群

○水揚され一駄七十個の

引張り凧の

上灣林署 移轉説質現れず

作明治事業の継座に甲D根蔵座」と決定してあた機様であるがての「孤典」を山登林器の城市移物は「用土から高鉄能とされ常局でもほ

けふから始まる

氏心作興の

な買収

塚花殿を開端したが出勘職教育十五る三日の明治部に伊川公舎堂で 「伊川」銀花同好館は川支部では 伊川菊花展

【開城】府內南山町一〇六洪淳泰 開城の火事

一方かい五十年後九四五十分暗出火 し同家一種を金磨した、腹壁は家 八が火はに炭火を起し温楽の間に 只能道議の視祭

開城に到着直に大一部に於ける官間、衛の親宗を終へ五日午後六時四十宮陽、抱川、楊州、坡州、長四十宮陽、抱川、坡州、長四十宮路、

任当時的是的影響的 命本府出回 人の動

は面田周長の努力で整隅を切り返 里で続行したの活政が放送したけ自下高下を無等の手で起した僧 本第一島 八県李郎太子 一七駅中であるが変と明春早を芥芋、八 本部一島 八県李郎太子 大路音歌人

月下旬完成の謎びになった中であるが態よ問登早々界子、八

面議補缺選擧

**广别设置** 調物

で富士」十二月歌に終め、東京の根本 で富士」十二月歌に終め、東京の根本 で富士」十二月歌に終め、東京の根本 で富士」十二月歌に変め、東京の根本 で富士」十二月歌に変め、東京の根本 では、一年の大力作! では、一年の大力にも では、一年の では、一年 近ひに生命を捨て、愛しあつた香代子と徳之助は この一篇に表く! 想と次の浪花情話 一般と次の浪花情話 電機に戦を無名響着野山に発 しき

一、六一九、五七九金幢人二八一事で駐嘩堂を墨行した一、六一九、五七九金幢人二八一期で財団でを提出、二五〇、六四四金移出「阿工宮」は四日午後三は四日本後三は一、二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二

は三日米沼、直ちに封屋長

他を挽腕して午後一時散頭した

を直接派遣して陣情すると脚束、朝鮮南軍へ荒闘或は即的だけ順であるからこの とは木都として経済

今年の累計は前年に比べ 一千萬圓近い激増

に守衛隊に入り公司守衛隊、十九回の舟加を示した、これは嬴「移入增と、頗る清潔な貢献さを見、聞といふ意思的飛捌である十方中。 即方に押してある。四日米選の十九節隊警復、財に責化して五十二、萬四千四百八 妻母、砂郷、織総源、組織が変っ。 むし既に一千九百二十四萬二千庫(つたが十二万に入こ)

品国のためも いよく、五日から七日まで三日間。段上げは廿四日新興部、廿五日豊

清津港の貿易額

成南辟令 三日明

陛下には左の如き有鑑さ令旨台四を仰ぎ際大に行はれたが

年後三母から是后陛下の 五川通常紀暦は 上し、整格届満年による全師の映近東師内の機構は非常な勢びで同

ーキーの設備があり耐もウエスタ

|近及び日・ロ・人民などの岸高||五二九米) 脚ちトーキー穴割、サ

走戦の傾向による産業保備一の設備のないものは僅か二十緒に

令旨を賜ふ

らしい内容の重質を示してある。「原用してある、この内部は日本ももなかつたものかこの現態。すば、に入って極落トーキー気懸準代を収入てある。」 原用してある、この内部は日本も記載備をしてみなる。

全北井西郷大阪の駐部取十名は、

日羊寺で協議

魔教後の對策

一六日午侵士時より全南長城の白羊

総教教「〇、三八四卷(二、三四)映画が振然り!」と示高の辺楽姫。 鉄塚節では城行きを北路」に設むは本年一月から九月末までに、もの六、九七八巻で、これ帰國庭。き打合せを行つた、発膺、北南道とおけり宗正における歌声に総教を、のと外関ものと呉翔を訪れば日本 | 幸で善後後について被諸領証を開

一七七米)内トーキー六、二一衆の趣而を遺憾なく戦弾してゐる一監視中である

會

本社主催・府民館で十日 午後五時から

寒十、十一兩日は適川、十四、十五郎城で開いた、七、八兩日は水腹の城で開いた。 七、八兩日は水腹

た記、六日常院展上り選表され に成せられたにつきその値を扱つ 美は詐欺罪で九月八日懲役八ヶ月 后黄金町三丁目) 正八位四郎專代

一家とのんだ、緑一時

殺一時間を設置して

クさらだ極も死なら々と用意の問

のと割り、直に用近の地域を開発

無事態の緊囲な連絡管影響を囲用。 無事態の緊囲な連絡管影響を囲用。 で調長、高田本府區、輸木、竹原。 で調長、高田本府區、輸木、竹原。

含是大融村大学人地 (現住所京城

失位 【京東電話】歌雕縣朝 塩面で、これに強いショワクを受

既に離立されたが、高等悪政能に「れた」地西側を開いてゐるが、京スパイの暗職に屬へる外事整禁は「ならしむるため木府では香道でそ」

愛婦總會へ台臨

ル所ナリ 共ニ別ク施設都營益を見ル 共ニ別ク施設都營益を見ル 八キモノアルハ深ク諸臣ス へのオーノ工・開立三十

男は内地の諸都市に比較して犯。

**出項目をあげられるが、京城の** 

心理院するか、否かの鍵とも

いが京城府が将来工業都市

松牛べき要性は大量

高級に!大概能を投じてるる。

業地區の

換量能に正常

と工芸地画として適場の成古を

年島映画界の現状

すつかリトーキー化して日本物だ全盛が

繁申言式く証券書が決定し入いて、臣主ヶ所に主変形成の次質試験書声。また処理聯盟は軽乗車が地流では、に對しては奇く幾色を見せてある。すことも喫緊却とされてある質者が高層制の決定、培養制度は手で、たいで主要指定については計下層、か引水利用は最大たる原理である。で電域は違いが、高度の地質時期、響中であるが、緩進上の計量が高層制の決定、培養制度は手で、たり、これが、財政という、概念をはないが、高度の地質時期、響中であるが、緩進上の計量を設置過程制の決定、培養制度は手で、これが、財政という。 一次に対してはいいが、高度の地質時期、を禁念し、これが、財政を認定規模の市価地値につう認定に行い、国のに、から検索も作うに対してはかくる。

| 増中であるが、戦地主の自歴を促

党を開解者を集め打合せ題派所を

日子後五年から府民富里講

するとになるべく、杉大な記載で

新聞域を統合

質念し、これが、財車を総総置、総な作成、各所調整に関るべく来 所 翻菜課、ではかくる傾向。おあるので、今回単位監視の核の

腰形は一頓挫の形である 勢にあり、排角の工業都市京域の 家の投資に目下何れも影響への形と採算上宙驟なことであり、資本

研究を進めてゐたが、として出版「確健」について 京城府ではさきに師橋大佐を販記 都市の研答、研蔵製化について、

行本を多額に要する生産工業が知に多額の投資をすることは収

然による地質の路臓のため、固

は特は生産工業の可能性が

案成る

合防護側關係者を集め

丁一日府民館で懇談會

今後大發展は望み繭となる

業京城の大邪魔

勢の果方も試由に握る前三里の原一量は利然学量で全後これが利用文一同。經所態要都主任大橋武夫氏は

實證された

同地の甲醛

質驗者大橋氏談

問題の粘土は成形古典

上りの悩み

## 四、京城碑町へ参拝せわばたら 他行する、府民は豊つて朝鮮神 第一日に入つた 阿氏初時に奥遇回はける七

比精神作用週間質能の春告祭金 性では同十時から、それり、国 三宮では年町九時から、京城神 一第一日神社参拝日で、朝鮮

あつて剛健な富胤を養ることに大ホールでは路地、蜘舞大師が 各種の記念放送を行ひ、府民館 も暴つて参照する、京域府では

年後学時から劉昭北に開戦一同年後学時から劉昭北に開戦一同柳宮へ参拝 けふ第一日 府廳の行事

してるる振撼、撤五年十七回目の行はじめ軍部に影戦の諸軍を提供 手でこの愛國娘の母元を調査しる あるので、軍司令部では脳兵隊の

部り武人の妻らしく立憲な應度 | 南洲、台灣等で記される各種情報

續々と献金

路機長、取引経蔵に科様的に乗り の特性配を用品してるたが、いつ 的原理信には概をのがさず京城府 京城府動業部では新内は勿論内地

これら特重器の既

を贈言それで一番展題の関係を守 に動め国際慰安に河が一番よいか

受シアメ

は

女中 入用担内部入十六七 電話光二一一六番へ 調希望の方は

である(慰異は豊子さん) **も前記派兵分隊に送つてゐたもの** 

南国特強

足先きに

都市建物改造

トクラ

3

シイリ

フウミガ ボンタン

たいと言ふので探してあるが、せて後しいと 室國部を感激さず 毎月決まつて金三圓の献金

は既を隠して個気にも

平量を記りが買宅を訪へば失う

健氣な未亡人

てるました。今になつては何もかくなることはかれて受話はし

であつたら再び主人のあとを疑惑しみません。生れる子供が男

特産品を陳列

弁に勤め値なお小遣ひを割いて歴

部門(記)

中土 地 高級は25回分級阿藤 地三分組版は 第八百名の 京原 地三分組版は第八百名の 京原 市業前 田田二十一番即 守業前 田田二十一番即 守業前

この概念んは一ヶ月健闘から三中

开醫院

※ 京日案内

大猫、投稿が経済で展開の高い本五二四四番、佐藤家道展開の高い本五二四四番、佐藤家道展開の

大學の遊び西

無は、夕地所報)大月里を報用 原は、夕地所報)大月里を報用 の「日から新聞されてゐた」。下の首はを仰き行功章機解説を たが、四、五の二日間は九段の五回通常総額を兼ねて現行され個田駅の線法副総解で、第三十

愛國婦人會の

有功章授與式

献復三間が耐燃されて来たのでいー

徳田少尉は死亡

| 中職は去る四日以来僧願飛行九職 平照へ歸還すべく僧聽戒行攝を繼【平壤(萬】飛行六職院職闘第一 除と聴き演習中だつたが、六日朝 **空襲飛行場附近で** 陸したが、徳田怡雄少暦(三)の福

**銅地半二、山手町三里旗天人は「ることゝたつた」「一、仲町三丁目林又喜、宮町」て外来等の時間に供し定僚に務め住業治郎氏は井圃、桃山町下部」で外来等の時間に供し定僚に務めけりた軍隊発育料を「川府道町三 解勧業部に接達説の陳明鵬を赴けけた軍隊発育料を「川府道町三 解勧業部に接達説の陳明鵬を赴け** 

最奥地の國境へ

贈る乙女の純情

能する(10)色は難能前後故障を起 既行規を与る一町の棚中に機體を 世が着陸せんとしたが及ばす、 飛六切っての勇士 ▲けて東島を買ひ事常を加く

「不規章!!! (活用少居は島根條 「本規章!!! (活用少居は島根條 「中華」」 (新聞社) (大東十五 「中華」」 (新聞社) (大東十五 「中華」」 (新聞社) (大東十五 「中華」」 (大東)」 (大東)」 (大東)」 「中華」」 (大東)」 (大東)」 (大東)」 「中華」」 (大東)」 (大東)」 (大東)」 (大東)」 「中華」」 (大東)」 (大東)」 (大東)」 (大東)」 (大東)」 (大東)」 (大東)」 (大東)」 (大東)」 (大東)) (大東)」 (大東)) (大東)」 (大東)」 (大東)」 (大東)」 (大東)」 (大東)」 (大東)」 (大東)」 (大東)」) (大東)」 (大東)」 (大東)」) (大東)」 (大東)」 (大東)」) (大東)」 (大東)」 (大東)」 (大東)」 (大東)」 (大東)) (大東))) (大東)) (大東))



起草泉域の栗氏が咸北古崎から持一主神紀されたものだが、鷺龍の編 | 節によつて生島主衆群に大きな真

水北市場附近七類山で窓見

三十五番で、境民色相は自色で、一米耐火度はゼーゲル三十六番万室

一献とならら

工業界に

大きな収穫

「稀た優秀な耐火樹土であるこ」結万の大なる優良精土であつて、

した結果、幅らずも

京城から新聞と雑誌

方規関学とある、少しも鉄かさ を高はせる を音楽主に要なすることになった 贈 長春川町の大海鷲車側が別の割き目 電間や 電話が送つて来た、贈 長春川町の大海鷲車側が別の割き日本間である。

女格化すべ

シスれ

特別立替

吹き出もので

~ぎする 人

十八回前後位所は何れでも結構

哲

竹家 主法風呂つき

捞别军队

妻を排泄しまん

現代の要求に違ふ合利的規利機器 出理御立等。 共の他 電荷電梯及程 る際社を創利用下き、 有限的本町五ノ一四 有名号社 第 英 社 電話本面・ 第 本 社

The second secon

1線の激気隙 地線を守る第 讃・蘇・蒙の國 京城の娘さんだつた 

行はれるがこれに光たち京城府で

った、この部後によれば泉塘は 一流を縄て近く決定を見る嘘びと 出版場話費は近く総貨、總監の 準市信用開議での適用による東

校講義錄 に猫學出來る、內生同談不業の制度あり、全十二億、居ながら最新の電氣工學を容益

麻

雀 ピンテ人用

使 内型人型土地过来的 电天间弧 子代 田 火 災 甲太阳十岁以下

华田百代店

は問題当街地にあるらす汚い非文

**上額の道路費** 捻出に腐むす

『綱は近く決定を見るが、これに一ると共に、将来 一額 に達するので、駆倒する影響は極八千萬間の **街面配置台の施行で京城府の道 | 生部署用地その他公共廃設に供り** することになり、財政別生委員館 財源の一部に流れると

に活躍させる 「戦争和、遼水を制撃・聴することが不可能なので、悪ひ、関し遠極動を開始するととなったと活躍で減化。を滅亡線と離離しれでは金城で京城府の郷地に順・近藤城次郷の太氏をあげ、當局に生活者で減化と交近に線と離離しれでは金城で京城府の郷地に順・近藤城次郷の太氏をあげ、當局に生活者で減化と交近に線域和三郎、の地獄に京城局の「総治省資によれ」では宣行金政に編域和三郎、庭総はさせる

**雄、工場にそれん人内護園を鎮一時能に顕微する際である** 「守を受け、既剛繁理事業に得る現場、異様、デベード、銀行、曹、等で助な開戦の事務分等は一屈語 「その一プしよして訴及を持ち出手と特別が囚禁と関訴する。 「守を受け、既剛繁理事業に得る現場である。」 「守を受け、既剛繁理事業に得る現場である。」 「守を受け、既剛繁理事業に得る現場である。」

「江蘇」 消防組では九日島南部門

澶

進

K

K

學博

御推獎!

好になり短時日に胃

腹部血液の循環は良 **化腹壓力を强調化す** 小柳式健康帶を締め

腸の機能を呉化、

全

心身に健康を齎らす

**电影歌** 

さく夜園成社の騒ぎ

**| 広駅電影で観楽と異つてある主| ーンといふなり磁が開えせ緑底の「松純の結果、京城井藤町三七金集を一新晩暮し、新入原蠟を総合| とする時、異如際下の突線からり - 鎌फ町岩石具が かけつけて|** 

外事警察の講習

運用、連絡に努め

くことしなつぎ

十の金をスラれて途方に暮れた揚 が家屋を控機つて北海道へ東生の 一步を踏み出さんとした時、成の

いふ時にまごつき、せめて映画で

游師、その他公式の場合に着る が佐の厳めしい道服は重司令部 丸腰で運信局へ動物中の赤

指摸の家。 上興中で失業した夫婦 型した協たま! 新興キネマ作 もみて死だっと六日夜既成職に入

今日の天気





體說

置 B 全四円五十類(與身界又は 量 B 全四円五十類(型調者用) を注書用)



岩替東京三四七六・中部七二五 鼓翼光 小 柳 ゴム 製 作 所 東京神田須田町 二磐師 守育前 驗明 集書

慢性胃腐疾患・胃・腑・エスグ試用あれ! ・ 大子ハー・製品の原ハ ・ 大子ハー・製品の原ハ

